

地域包括支援センターでは、各専門職がその専門性を活かして活躍しています。
現場で働く皆さんに話を伺いました。

主任介護支援専門員は、介護全般の相談に対応する専門家です。介護申請や介護サービスなどの相談支援を行い、高齢者の生活を支援します。

民生委員から心配な人がいると聞き、家庭訪問したことがあります。話を聞くと、体調を崩して以来、掃除や買い物が大変だと悩んでいたため、すぐに代行して介護保険の認定申請を行い、介護サービスなどが利用できるよう調整しました。

助けを求めることができなかつたり、どこに相談すればいいかわからなかつたりする人もいます。周りに心配な高齢者がいたら、教えてください。

東部地域 包括支援センター



主任介護支援専門員
山田 泰伸

みらいあ地域 包括支援センター



保健師
水越 健太

保健師は、医療機関と連携して、医療や介護の相談に対応する専門家です。主に病気やけがを予防するための保健指導や心身の健康を維持するための介護予防教室を行います。

コロナ禍で家に閉じこもりがちが高齢者が増えました。年を取ると筋力が低下します。加えて外出する機会が減ると、フレイル（虚弱）な状態になりやすくなります。フレイル予防のため、去年は水竹公園で週2回、高齢者の皆さんとラジオ体操を行いました。皆さんもラジオ体操や散歩など定期的な運動を心がけましょう。

中央地域 包括支援センター



社会福祉士
多々内 崇文

社会福祉士は、福祉全般の相談に対応する専門家です。福祉や介護のほか、消費者被害や高齢者虐待からの権利擁護などさまざまな問題について相談支援を行います。

近年は、高齢者が高齢者の介護を行う老々介護も増え、高齢者の介護が家族にとって大きな負担になってきています。本センターでは、介護をしている方を対象とした「介護者のつどい」を開催しており、介護の悩みを相談することができます。家庭で抱え込まず、そういった場をぜひ利用してみてください。

西部地域包括支援センター職員募集

- 資格 保健師、看護師、社会福祉士、介護支援専門員のいずれか
- 募集人員 1人
- 応募先 直接または電話で西部地域包括支援センター（☎ 58-1136）へ。

